

宮村地域実質化された京力農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)		当初作成年月	更新年月
宮津市	宮村	宮村	令和4年3月	—

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	13.90 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	13.20 ha
c 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計	1.00 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.80 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.20 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.40 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.20 ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

2 対象地区の課題

課題

古くから市街地近郊の水稻と野菜栽培の複合経営が中心の地区であり、若年農業後継者に加え40歳代～70歳代前半の経営体が地区の約半数を占めているが、現状で80歳以上の耕作面積が1.0haあり、今後10年先には現在の70歳代や離農による耕作困難農地の増加が心配されている。

このことから、集落営農組織の体制強化や、新たな受け皿となる企業参入・集落連携による耕作者の確保とともに、主要農家が効率的に農地利用ができるよう地域的・集団的な利用調整が必要である。

また、高齢化や農家数の減少により困難となる農地の維持や、農道・水路等の施設の管理面において、非農家を含めた地域全体で考えていく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

個々の農業経営計画による農地利用を基本として、中間管理機構も活用しながら中核的担い手への農地集約と農地利用を効果的に進める。